

1. 小笠原正明

2. 高等教育・化学, 教授

3. 研究活動

(1) 著書 (単著, 共著, 編著)

- ・ 小笠原正明, 阿部千春 (2007) 「天然アスファルトの利用と供給」『縄文時代の考古学6 ものづくり-道具製作の技術と組織-』, 同成社, pp. 256-267

(2) 論文 (学術論文, その他の雑誌論文等)

- ・ 小笠原正明 (2008) 「「化学プロジェクト」のモデル授業」『東京農工大学 大学教育ジャーナル』, 第4号, 印刷中
- ・ K. Kato, A. Miyao, J. Ito, N. Soga and M. Ogasawara (2008) 「Search for origin of bitumen excavated from archaeological sites in the northernmost island in Japan by means of statistical analysis of FI-MS data」『*Archaeometry*』, 印刷中
- ・ 小笠原正明 (2007) 「研究大学における理系の基礎教育とティーチングアシスタントの役割」『名古屋高等教育研究』, 第7号, pp. 249-267
- ・ 小笠原正明, 細川敏幸, 西森敏之 (2007) 「コアカリキュラムに関するアンケート調査」『高等教育ジャーナル-高等教育と生涯学習-』 (北海道大学高等教育機能開発総合センター紀要), 第15号, pp. 123-129
- ・ 小笠原正明 (2007) 「速報: 化学プロジェクト」, 『東京農工大学 大学教育ジャーナル』, 第3号, pp. 27-33

(3) その他著作物 (報告書・訳書)

- ・ 小笠原正明 (2008) 「書評: Paul C. Yates 著, 林 茂雄・馬場 涼訳『化学計算のための数学入門』」『現代化学』, 2月号, p. 68
- ・ 小笠原正明 (2007) 「巻頭言: 価値をめぐって」『大学教育学会誌』, 第29巻, 第2号, p. 1
- ・ 小笠原正明 (2007) 「シンポジウム1 「持続可能な社会と教養教育」を司会して」『大学教育学会誌』, 第29巻, 第2号, pp. 35-36
- ・ 小笠原正明 (2007) 『大学における初習理科の教育モデルと評価モデルの開発』平成16年～18年度科学研究費補助金 (基盤研究 (B)) 研究成果報告書
- ・ 小笠原正明 (2007) 「日常生活の上に成り立つ科学コミュニケーション」『楽しい理科授業』, 第492号, pp. 18-19
- ・ 小笠原正明 (2007) 「筑波大学が持つ教育資源について」『筑波フォーラム』第75号, pp. 84-87

(4) 学会発表

- ・ 小笠原正明 (2007) 基礎教育の改善と分野別FDの展開, シンポジウムII, 大学教育学会 2007年度課題研究集会要旨集, pp. 24-25

(5) 講演等 (FD講演会, 教授会ミニセミナーなど)

- ・ 「大学の教員になるということ」, 東京農工大学 2007年度新任教員研修会「大学を知る」(2007年4月)
- ・ 「コメント: 基礎教育プロジェクトの現況」, 東京農工大学平成18年度「教育改善支援プログラム (学内GP)」成果報告会及び講演会 (2007年6月)
- ・ 「博士課程のためのFDとは何か」, 連合農学FDセミナー (東京農工大学) (2007年7月)
- ・ 「FDの義務化への対応」, 東京農工大学職員研修 (2007年11月)
- ・ 「教育的見地からの技術職員の職責」, 東京農工大学工学府の技術職員を対象とした研修 (2007年12月)
- ・ 「「化学プロジェクト」の報告」, 東京農工大学FDシンポジウム「名古屋地域のFDコンソーシ

- アム形成に向けた取組—現状と課題」(2008年2月)
- ・ 「カリキュラム構造について」, 千葉大学第1回普遍教育シンポジウム(2007年3月)
 - ・ 「基調講演: これからの地域・臨床型リーダー養成を探る」, 平成18年度秋田大学特色G Pフォーラム(2007年3月)
 - ・ 「教育力向上のための学内体勢」, 2006年秋冬の高等教育セミナー「大学の教育力 第3回」(IDE大学協会)(2007年3月)
 - ・ 「話題提供2 カリキュラムの構造化と教育の組織化」, 第13回大学教育研究フォーラム(京都大学)(2007年3月9日)
 - ・ 「大学の基礎教育カリキュラムの再構築と授業開発—初習理科の教育モデルの開発」, 愛媛大学FD・SDセミナー(2007年6月)
 - ・ 「ファカルティーデベロップメントはなぜ必要か?—成績評価の問題を中心に—」, 東京女学館大学FD(2007年7月)
 - ・ 「学士課程におけるカリキュラム開発と単位制度実質化—北海道大学と東京農工大学における理系教育改革の経験から」, 大阪市立大学第14回教育改革シンポジウム: 「大学院重点化時代の学士課程教育システムを考える—質の高い教育のためのカリキュラムマネジメントと単位制度実質化」報告(2007年8月)
 - ・ 「北海道大学の教育研修」, 神奈川工科大学教員研修準備会(2007年9月)
 - ・ 「第二世代のFDとティーチング・アシスタントの役割」, 平成19年度静岡大学夏期FD研修(2007年9月)
 - ・ 「カリキュラム開発とファカルティー・デベロップメント」, 第47回大学教員セミナー(八王子セミナーハウス)(2007年9月)
 - ・ 「連携型FDの課題と今後の展望」, 第4回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム: 第5分科会「FDとSDの課題と展望について」(大学コンソーシアム京都)(2007年9月)
 - ・ 「FD義務化への対応」, 大学コンソーシアムひょうご神戸第2回FD・SDセミナー(2007年9月)
 - ・ 「連携型FDの課題と今後の展望」, 平成19年度公立大学学長会議(2007年10月)
 - ・ 「学士課程のカリキュラム開発とFD—戦略的な基礎教育プログラムの改革—理系を中心に」, 高等教育活性化シリーズ120(通算380回)「学士課程のコンセプトと教学運営」(地域科学研究会・高等教育情報センター)(2007年12月)
 - ・ 「アクティブラーニングは工学の基礎教育に使えるか?」, 平成19年度中国・四国工学教育協会大学教育部研究会(2007年12月)
 - ・ 「大学教育におけるTA活動の実際—大学院生のTA導入における課題—」, FD講演会(千葉大学看護学部)(2007年12月)
 - ・ 「FDの課題と展望」, 第4回FD推進委員会(早稲田大学)(2008年1月)
 - ・ 「UCバークレーとケンブリッジ大学の授業はどのように行われているか?」, 第4回ベンチマーキング・評価指標検討委員会(東京大学)(2008年1月)
 - ・ 「次世代のFDとPDCAサイクル」, 信州大学FD研修会(2008年2月)
 - ・ 「次世代のFDとPDCAサイクル」, 広島大学工学研究科特別講演会(2008年2月)
 - ・ 「特色G Pから何を学ぶか?」, 平成19年度大学教育改革プログラム合同フォーラム: パネルディスカッション「G P事業の成果と今後の展開」(文部科学省/(財)文教協会)(2008年2月)
 - ・ 「研究大学におけるティーチングアシスタントの役割」, 横浜国立大学FDシンポジウム(2008年3月)
 - ・ 「今あるFDを探せ!」, 2007年度第13回FDフォーラム「大学教育と社会—FD義務化を控えて—」(2008年3月)
 - ・ 「TAを巻き込んだ組織的FDの展開—大学院重点化を見据えて—」, 島根大学FD(2008年3月)

4. 教育活動
 - ・ 前期「化学」農学部
 - ・ 後期「化学」農学部
5. 学内活動（委員等）
 - ・ 大学教育委員会委員
 - ・ 大学教育センター運営委員会委員
 - ・ 同T A制度改善WG委員
 - ・ 教養協議会委員
 - ・ 同幹事会委員
 - ・ 同実施体制部会委員
 - ・ 同基礎教育部会主査
 - ・ 同教養教育部会委員
 - ・ 同協議会同部会英語教育検討WG委員
 - ・ 同第二外国語検討WG委員
 - ・ 同スポーツ・健康科学検討WG委員
6. 社会活動（学会等）
 - ・ 文部科学省大学設置・学校法人審議会特別委員（大学設置分科会）
 - ・ 特色ある大学教育支援プログラム（特色G P）実施委員会委員および小委員会委員
 - ・ 同総合評価部会及び審査部会委員
 - ・ 大学教育学会常任理事
 - ・ 北海道大学高等教育機能開発総合センター研究員
 - ・ 北海道大学総合博物館研究員
7. 獲得研究費
 - ・ なし
8. その他（他大学非常勤講師など）
 - ・ 筑波大学特任教授

1. 氏名：吉永契一郎
2. 専攻および職名：高等教育研究，准教授
3. 研究活動
 - (1) 著書（単著，共著，編著）
なし
 - (2) 論文（学術論文，その他の雑誌論文等）
吉永契一郎（2007）「アメリカ州立大学における入門物理」『大学の物理教育』，第13号，第1号，pp.58-62.
吉永契一郎（2007）「東京農工大学卒業生の大学教育への評価」『大学教育ジャーナル』，第3号，pp.53-67.
 - (3) その他著作物（報告書・訳書）
吉永契一郎（2007）「アメリカ州立大学における学科長職」『大学における初習理科の教育モデル開発』，pp.41-49.
吉永契一郎（2007）『初年次教育ハンドブック』，丸善，pp.33-55.
 - (4) 学会発表
なし
 - (5) 講演等（FD講演会，教授会ミニセミナーなど）
「アメリカの大学院教育」文部科学省
4. 教育活動
前期「共生持続社会学」農学府
前期「比較文化論」工学部
5. 学内活動（委員等）
大学教育委員会
教養教育協議会
国際センター運営委員
6. 社会活動（学会等）
大学教育学会関東支部幹事
大学教育学会年次大会実行委員
金沢大学・大学教育開発・支援センター客員研究員
特色ある大学教育支援プログラム・ペーパーレフリー
7. 獲得研究費
「21世紀型アカデミック・プロフェッション構築の国際比較研究」（研究分担者，研究代表者有本章）
8. その他（他大学非常勤講師など）
非常勤講師 国際基督教大学 秋学期「西欧高等教育の伝統」

1. 調 麻佐志

2. 科学技術計量学, 准教授

3. 研究活動

(2) 論文 (学術論文, その他の雑誌論文等)

調麻佐志 (2007) 「卒業生・修了生が東京農工大学の教育に求めるもの」, 『大学教育ジャーナル』第3号, pp.79-82

(3) その他著作物 (報告書・訳書)

後藤晃, 調麻佐志他 (2007) 『イノベーションの測定に向けた基礎的調査報告書』, 文部科学省 科学技術政策研究所.

(5) 講演等 (FD 講演会, 教授会ミニセミナーなど)

・「TAの仕事」東京農工大学TAセミナー (2007年5月)

・「ICTを利用した教育改善」, 東京農工大学工学部教授会 (2008年1月)、農学部教授会 (2008年2月)

・「教育改善を支援するICTの活用-SoTLに根ざした教員コミュニティの形成」, 東京農工大学総合情報メディアセンターシンポジウム「大学教育におけるICT活用」, pp.53-62 (2008年2月)

4. 教育活動

後期「科学技術論」「総合政策論」工学部

5. 学内活動 (委員等)

・全学自己点検評価小委員会

・工学府教育委員会オブザーバー

6. 社会活動 (学会等)

・科学技術社会論学会理事

・研究技術計画学会評議員

・計画行政学会理事

7. 獲得研究費

科研費基盤C「技術者のキャリアに基づいた技術倫理事例の体系化」(研究代表者)

8. その他 (他大学非常勤講師など)